

クアッド 日本で来年

米高官「日米豪印の協力深化」

【ワシントン＝坂口幸裕】米国家安全保障会議（NSC）でアジア戦略

を担うキャンベル・インド太平洋調整官は19日、米英豪で立ち上げた安全保障の枠組み「AUKUS（オーカス）」の参加国拡大をめざす考えを示した。日米豪印による枠組み「Quad（クアッド）」を巡っては202

2年は日本が主催国になることで合意したと説明した。

米平和研究所のオンラインイベントで語った。クアッドは経済安全保障を軸にした協力の枠組みで、今年9月下旬に米ワシントンでクアッドの首脳会議を開いた。対面を実施する場合は22年に首脳や閣僚らの関連会合を

日本で開くことになり、バイデン米大統領の初来日をにらんだ日程調整が進む可能性がある。

キャンベル氏は「4カ国がより深く協力したい。サイバーや宇宙など新しい領域での取り組みも増えてくるだろう」と強調した。

米国、英国、オーストラリアは9月にオーカス

を創設した。米英が支援して豪州に原子力潜水艦を配備する計画で、インド太平洋での中国軍を抑止する狙いがある。

オーカス拡大については「すぐにはなくてもアジアや欧州の他の国が参加するのを期待している」と述べた。個別の国は挙げなかった。協力分野としてサイバーや軍事転用できる人工知能（AI）などに触れ「各国には強みとするイノベーションの分野がある。お互いに何を得られるか見極めたい」と話した。